

吉村知事こそ税金泥棒？維新新人が“衆院1日満額100万円支給” 暴露も「アンタももらってたやろ」特大ブーメランで大炎上

2021.11.15

10月31日に行われた衆院選で初当選した日本維新の会・小野泰輔衆院議員が「文書通信交通滞在費が満額の100万円支払われた」と明かしたことを受け、維新副代表の吉村洋文知事が自身のツイッターで「これが国会の常識。おかしいよ」と投稿した。しかし、吉村氏も衆院議員時代、これを受け取っていた“疑惑”があることから、「アンタももらってたやろ」など批判が殺到。ブーメランとして返ってくる事態となっている。

在職1日で満額支給される費用に異を唱える維新

東京1区から出馬し、小選挙区では敗北したものの比例で復活し、初当選を果たした小野議員。

小野氏は12日、自身のnoteで「国会の常識、世間の非常識」として、特別国会初日に月給に当たる歳費と文書通信交通滞在費が支払われ、歳費は日割り計算（約3万円）だったが、文書通信交通滞在費は満額が支払われたことを明かした。

衆議院事務局に確認したところ「今の法律では1日でも任期がかかっていると満額が出る仕組み」との説明があったといい、「これは世間の常識からしたらおかしいことです」と訴えた。

これに呼応したのが維新副代表の吉村洋文知事。

吉村氏は13日、自身のツイッターに「どうやら1日だけでも国会議員の身分となったので、10月分、100万の札束、満額支給らしい。領収書不要。非課税。これが国会の常識。おかしいよ」と投稿した。

強く憤った吉村氏はさらに「この経費の原資は、国民の税金、国の借金。国会の非常識、古臭い慣習、非生産性。維新が突破を」と痛烈に国を批判した。

吉村知事「これが国会の常識。おかしいよ」 1日だけの国会議員にも100万円、非常識な経費に憤慨

→民間は、売上を上げ、経費を払い、倒産リスクの中、経営。国会はどうだ？この経費の原資は、国民の税金、国の借金。国会の非常識、古臭い慣習、非生産性。維新が突破を。

<https://t.co/2VZEZyy4Jo>

— 吉村洋文(大阪府知事) (@hiroyoshimura) November 13, 2021

「アンタももらってるやん！」吉村氏に特大ブーメラン

しかし、その強い怒りはブーメランとして返ってきてしまったようだ。

ネットからは吉村氏が衆院議員時代の在任期間が2014年12月19日から2015年10月1日だったことから、「吉村さんも2015年10月1日の1日で満額の支給を受けているのでは？」との指摘が殺到。

「自分ももらってるじゃん」「結局文句言うだけ」「吉村さんは何に使ったんですか？」など批判が相次いでいる。

また、他の野党からも吉村氏のツイートに対して即座に反応。今回の衆院選挙で当選したれいわ新選組の大石あきこ議員は自身のツイッターで「維新が『100万円もったいない』と空騒ぎ。よう言うわ」とあきれ顔。

「資本家やマスコミと結託して、この国のカネやリソースを好き放題に浪費してるのが維新。なにより非正規雇用を推進しまくって、大阪や日本の景気を停滞させた損失は計り知

れない」とし、「維新を倒すための戦費として私は100万円でも何でも使います」と辛辣に綴った。

維新が「100万円もったいない」と空騒ぎ。よう言うわ。
資本家やマスコミと結託して、この国のカネやリソースを好き放題に浪費してるのが維新。なにより非正規雇用を推進しまくって、大阪や日本の景気を停滞させた損失は計り知れない。
維新を倒すための戦費として私は100万円でも何でも使います。

— 大石あきこ れいわ新選組 衆議院議員(大阪5区) (@oishiakiko) November 14, 2021

ちなみに今年度、維新には国から政党交付金として18億1700万円が支払われている。これも国の制度のひとつだが、吉村氏からこれについても言及は何もない。